

生まれてくる赤ちゃんのため

RS ウイルス感染症予防接種を受けましょう



対象期間: 接種当日が妊娠28週0日から36週6日まで

接種費用: 無料(※令和8年4月1日以降の接種に限る)

接種回数: 妊娠ごとに1回

対象期間中は無料で接種を受けることができます。生まれてくる赤ちゃんを、RS ウイルス感染症から守るために予防接種を受け、病気に対する免疫を作りましょう。



出産予定日が 年 月 日の妊婦さんは

接種可能期間は 年 月 日から 年 月 日です

◎接種後14日以内に生まれた乳児における有効性は確立していません。

出産が予定日より、早まることもありますので、接種日については、医師とよく相談して決めましょう。

また、38週6日までに出産を予定している場合は、医師に相談しましょう。

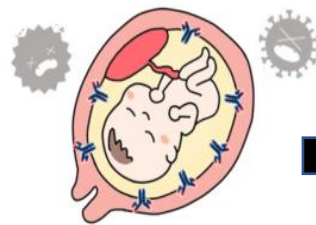


母子免疫を利用したRS ウイルスワクチンの仕組み



妊娠中に接種する

生まれた赤ちゃんにも抗体



胎盤を通して胎児に移行

【接種に注意が必要な人】

- ・接種により、妊娠高血圧症候群の発症リスクが上がるという報告があります。医師に指摘を受けている人や、今までに妊娠高血圧症候群と診断されたことがある人。
- ・筋肉内注射のため、血小板減少症や凝固障害を有する人、抗凝固療法を受けている人。

【接種可能医療機関・接種費用について】

妊婦健診を受けている医療機関で接種しましょう。市外の病院で接種を受ける場合は、別途手続きが必要になりますので、事前にご相談ください。

接種費用について、病院等の都合により、いったん医療機関で支払い、後日、指定口座に払い戻す方法になる場合もあります。(償還払いと言います。)釜石市との払い戻し手続きの際、領収書が必要になりますので、無くさないようご注意ください。

【予防接種の当日】

- (1) 予診票の質問事項について、回答欄に記入しましょう。
- (2) 医療機関には以下のものを忘れずに持参しましょう。
 - ・RS ウイルス感染症予防接種予診票 (記入したもの)
 - ・母子健康手帳 (妊婦健診の記録に接種歴を記載します)
- (3) 申し込みをしていますが、以下に該当する場合は接種できません。
 - ・接種当日に熱があるとき (37.5℃以上)
 - ・重篤な急性疾患に罹っているとき
 - ・医師に接種できない状態であると診断されたとき

裏面もお読みください

【接種後に気を付けること】

- (1) 接種後30分は安静にして様子を見ましょう。この間に急な副反応がでる場合があります。
- (2) 接種当日は激しい運動を避けましょう。
- (3) 入浴は差し支えありません。接種部位を清潔に保ちましょう。また、強くこすらないように気を付けましょう。

【他のワクチンとの同時接種、接種間隔について】

- (1) 医師が特に必要と認めた場合は、他のワクチンと同時接種が可能です
- (2) 海外の治験によると、百日咳菌の防御抗原を含むワクチンとの同時接種で、百日咳菌の防御抗原に対する免疫反応が低下するとの報告があります。接種間隔等については医師とよく相談しましょう。

【定期予防接種による健康被害救済制度】

※接種を受けた本人と出生した児が対象となります

- (1) 定期予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく給付を受けることができます。ただし、その健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因（予防接種をする前あるいは後に紛れ込んだ感染症あるいは別の原因）によるものか因果関係を、予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定される必要があります。
- (2) 給付の内容は、医療費、医療手当、障害児養育年金、障害年金、死亡一時金、埋葬料となっており、法律で決められた金額が支給されます。死亡一時金、埋葬料以外については、治療が終了するまで、または障害が治癒する期間まで支給されます。

※給付申請の必要が生じた場合は、予防接種を受けたときに住民登録している市町村へご相談ください。

RS ウイルス感染症ってどんな病気？

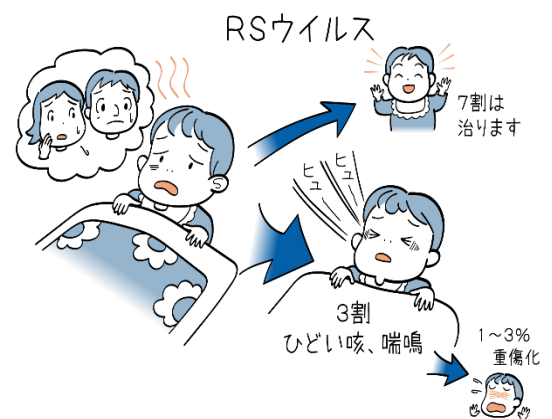
特に小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、1歳までに50%以上、2歳までにほぼ100%の乳幼児が、少なくとも1度は感染するとされています。

感染すると、2~8日の潜伏期間ののち、発熱、鼻汁、咳などの症状が数日続き、一部では気管支炎や肺炎などの下気道症状が出現します。

初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割で咳が悪化し、喘鳴（ゼイゼイと呼吸しにくい）や呼吸困難、さらに細気管支炎になるなど、重症化することがあります。入院加療が必要となり、入院例の約7%が人工換気が必要としたとの報告があります。

RS ウイルスの流行には季節性があり、秋冬に流行が見られていましたが、近年では、夏にも流が見られるようになり、通年で流行のおそれがあります。接触、飛沫感染により伝播するため、手洗いや手指衛生など基本的な感染対策が有効です。

治療は、症状に応じた治療（対症療法）が中心で、重症化した場合には酸素投与、点滴、呼吸管理等を行います。



【問い合わせ先】

釜石市保健福祉部健康推進課

住所：釜石市大渡町3-15-26（保健福祉センター2階）

電話：22-0179